

繋

がつている

海と太陽の間で

太平洋の島パラオとアジアの島日本。
アートが繋いだパラオと日本の平和と友愛。

2019年11月4日(月)～10日(日)

世田谷美術館 区民ギャラリー 入場無料
10時～18時 ※入場17:30まで ※11月5日(火)休館



繋がっている

海と太陽の間で



アートが繋いだパラオと日本の平和と友愛

2019年は、パラオが独立し日本との外交関係樹立25年を迎える特別な年にあたります。駐日パラオ共和国大使館は今後もこの平和と友好関係をより一層深めていくために、記念事業として本展を開催いたします。

1929年、日本からパラオに来た土方久功は、公学校でパラオの子どもたちに木彫を教えました。その傍ら、ミクロネシアの芸術や風土を反映させた作品を制作しました。土方は、パラオの子どもたちに、バイ(集会所)からヒントを得たデザインを板に彫り込むよう指導しました。こういった作品はイタボリ(英語ではstory board)と呼ばれ、パラオの神話を伝える工芸品として現在もパラオ国内で制作、販売されています。

本展示では、パラオで土方の技術を継承しているテバン工房の代表、イナボ氏の作品に加え、ベラウ国立博物館の協力を得て、現代のパラオと日本に関する作家たちの作品を展示し、パラオと日本に育った友愛について紹介します。

イタボリ・アーティスト **Ling Inabo** リン・イナボ



土方久功の弟子であった、バリス氏に師事。98年、コロールにテバン・ウッドカービング・ショップ設立、イタボリの制作・販売、後継者の養成、観光客向けのワークショップを行なっている。コロールのハワイ銀行には横幅15mにも及ぶ彼の作品が飾られている。

Belau National Museum ベラウ国立博物館



コロール州にあるミクロネシア最古の博物館。Belau National Museumは1955年に設立され、パラオの歴史・自然・文化・アートの保存・保護を目的に、研究・展示・教育などの啓発活動を行なっている。また、パラオのアーティストによる近現代のアート作品も多数収蔵している。ベラウとはパラオのこと。

会期：2019年11月4日(月)～10日(日) ※11月5日(火)休館

時間：10時～18時 入場無料 ※入場17:30まで

場所：世田谷美術館 区民ギャラリー



●東急田園都市線「用賀」駅から徒歩(17分)もしくは美術館行バス「美術館」下車 徒歩3分 ●小田急線「成城学園前」駅 渋谷駅行バス「砧町」下車 徒歩10分 ●小田急線「千歳船橋」駅 田園調布駅行バス「美術館入口」下車 徒歩5分 ●東横線「田園調布」駅 千歳船橋行バス「美術館入口」下車 徒歩5分

Event Information

文化、教育、観光からパラオと日本の関係を見る。

パラオ・日本外交関係樹立25周年記念セミナー
—パラオと日本の未来を考える— **参加無料**

11月9日(土) 13:00-16:30 会場:世田谷美術館 講堂

パラオのアート塗り絵に色をつけてみよう!

パラオ アート・ワークショップ **参加無料**

11月9日(土) 11:00-12:00 会場:世田谷美術館 創作室C

※対象年齢：小学生 ※各回定員10名

ノミと木槌でパラオのイタボリを実際に彫ってみよう!

イタボリ・ワークショップ **費用：5,000円**

11月10日(日) ①10:30-11:30 ②13:00-14:00

会場:世田谷美術館 創作室C

※対象年齢：中学生以上が望ましい。 ※各回定員7名

イベントは事前予約が必要となります。

お申し込み方法と最新情報は下記facebookを参照ください。

特設フェイスブックページ **f Palau25thAnniversary**